

自己免疫性膵炎のアンケート調査

厚生労働省特定疾患対策事業 難治性膵疾患に関する調査研究班

○ 本アンケートにおける新規・継続の定義

新規とは2007年の1年間に新たに新たに発症し、診断されたAIP症例をさし、継続とは2007年以前に診断され、継続診療または経過観察されている症例をさす。

○ 本アンケートにおける再燃の定義

再燃とは、1. 膵病変の再燃、または、2. 膵外病変の合併を来すこととする。

1. 膵病変の再燃:

寛解導入治療が有効であった被験者で、観察期間中、寛解時に比して膵の再腫大および膵管の再狭窄を示す。ただし、膵管像はERCPに加え、MRCPによる診断を可とする。

2. 膵外病変の合併:

硬化性胆管炎を含む膵外病変の合併により、ステロイドの増量あるいは再投与が必要。

参 考

- 1) 第 1 回研究打ち合わせ会プログラム
- 2) 第 2 回研究報告会プログラム

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業
難治性瘵疾患に関する調査研究班

研究代表者：下瀬川 徹

平成 21 年度 第 1 回研究打ち合わせ会
プログラム

日 時：平成 21 年 7 月 14 日（火）10：30～17：24

会 場：東京ステーションコンファレンス

千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー 6 階 605

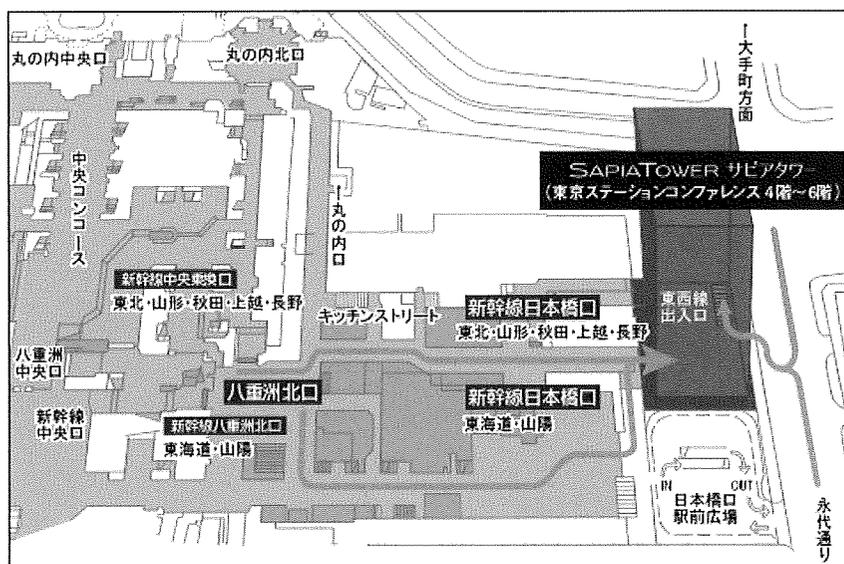
TEL 03-6888-8080（代表） FAX 03-6888-8062

【 発表に関するお願い 】

1. 発表データは、あらかじめ平成 21 年 7 月 8 日 (水) 12 : 00 までに難治性肺炎に関する調査研究班事務局 (suizo@m.tains.tohoku.ac.jp) まで e-mail にてお送りください。
2. PC (Windows に限定)、PowerPoint2007 による、プレゼンテーションのみとします。
3. 発表時間の厳守にご協力ください。

【 会場案内 】

サピアタワー周辺地図



サピアタワー6階

新幹線東京駅日本橋口ー徒歩1分 東京駅八重洲北口ー徒歩2分

※ 地下 2~3 階に駐車場がございます。(300 円/30 分)

10:30 開会の辞
10:32 ご挨拶

研究代表者 下瀬川 徹
厚生労働省健康局疾病対策課 様

[1] 急性膵炎—共同研究 10:37~11:54 (発表5分、質疑2分)

1. 急性膵炎、重症急性膵炎の全国調査

研究代表者 下瀬川徹 (東北大学大学院消化器病態学)

佐藤賢一、正宗淳、木原康之、
佐藤晃彦、木村憲治、辻一郎、
栗山進一、濱田晋

2. 重症急性膵炎治療開始の golden time の設定に関する検討

研究分担者 武田和憲 (国立病院機構仙台医療センター外科)

片岡慶正、竹山宜典、廣田昌彦、
北川元二、真弓俊彦、下瀬川徹

3. 急性膵炎重症化の早期予知としての perfusion CT の有用性に関する検討

研究分担者 武田和憲 (国立病院機構仙台医療センター外科)

片岡慶正、竹山宜典、廣田昌彦、
多田真輔、木村憲治、桐山勢生、
古屋智規、下瀬川徹

4. 急性膵炎重症度判定基準(2008)の検証

研究分担者 武田和憲 (国立病院機構仙台医療センター外科)

片岡慶正、木原康之、北川元二、
黒田嘉和、下瀬川徹

5. 急性膵炎の搬送基準および高次医療施設要件の設定について

研究分担者 片岡慶正 (京都府立医科大学大学院消化器内科学)

武田和憲、竹山宜典、廣田昌彦、
黒田嘉和、下瀬川徹

6. 急性膵炎の早期診断と重症化予知に関する尿中 tripsinogen-2 測定と尿中 TAP 測定の有用性を検討する

研究分担者 片岡慶正 (京都府立医科大学大学院消化器内科学)

保田宏明、竹山宜典、伊藤鉄英、
真弓俊彦、伊佐地秀司、北川元二、
横江正道、下瀬川徹

7. 急性膵炎初期診療コンセンサスの改訂

研究分担者 伊藤鉄英 (九州大学大学院病態制御内科学)

五十嵐久人、木原康之、下瀬川徹、
ワーキンググループ委員

8. 重症急性膵炎の特殊療法の有用性に関する検証

研究分担者 竹山宜典（近畿大学医学部外科肝胆膵外科）

武田和憲、廣田昌彦、伊佐地秀司、
北川元二、古屋智規、羽鳥隆、
真弓俊彦

9. 急性膵炎の栄養と腸管対策に関する指針の作成

研究分担者 竹山宜典（近畿大学医学部外科肝胆膵外科）

片岡慶正、廣田昌彦、伊佐地秀司、
北川元二

10. ERCP 後膵炎の新たな診断基準案の検証

（尿中トリプシノーゲン2によるあらたな診断基準案の作成についての提案も含めて）

研究分担者 峯徹哉（東海大学医学部消化器内科学）

明石隆吉、入澤篤志、大原弘隆、
山口武人、吉田仁、花田敬士、
五十嵐良典、木田光弘、川口義明、
森實敏夫、下瀬川徹

11. ERCP 後膵炎の対策

ハイリスク群における ERCP 後の内視鏡的膵管ステント留置術についての提案

研究分担者 峯徹哉（東海大学医学部消化器内科学）

明石隆吉、入澤篤志、大原弘隆、
山口武人、吉田仁、花田敬士、
五十嵐良典、木田光弘、川口義明、
森實敏夫、下瀬川徹

[2] 急性膵炎—各個研究 11:54~12:39（発表3分、質疑2分）

12. 急性膵炎発症における個体差について

研究分担者 廣田昌彦（熊本地域医療センター—医師会病院外科）

13. 使用造影剤量10cc以上はERCP関連手技後膵炎の危険因子である

研究協力者 明石隆吉（熊本地域医療センター・ヘルスケアセンター）

14. 膵血流障害と NOMI

研究協力者 多田真輔（京都大学大学院医学研究科消化器内科学講座）

辻喜久、上野憲司、千葉勉

15. ラットアルギニン急性膵炎後の膵腺房細胞の再生過程における、hedgehog シグナル伝達系ならびにnotchシグナル伝達系の発現について

研究分担者 片岡慶正（京都府立医科大学大学院消化器内科学）

鈴木教久、阪上順一、保田宏明、
十亀義生、信田みすみ

16. 高アマラーゼ血症をきたした重症患者におけるトリプシノーゲン測定の有用性
研究分担者 真弓俊彦（名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学）
横江正道

17. 地方における重症急性膵炎、新判定基準の認知度調査
研究協力者 古屋智規（市立秋田総合病院外科）

18. 炎症性サイトカイン関連蛋白ノックアウトマウスにおける、膵外分泌機構異常の解析
研究協力者 大西洋英（秋田大学大学院医学系研究科消化器内科学講座）
真嶋浩聡

19. ERCP後膵炎の現状と対策
研究協力者 久津見弘（神戸大学大学院消化器内科学分野）
増田充弘

20. 重症急性膵炎における血漿ADAMTS13の動態とその意義
研究協力者 植村正人（奈良県立医科大学第3内科）

森岡千恵、山尾純一、美登路 昭、
吉田太一、沢井正佳、福井博、
松本雅則、藤村吉博

12：39～13：30 昼食 （研究分担者打ち合わせ会 東北大学東京分室/サピアタワー10階）

[3] 慢性膵炎—共同研究 13:30～14：33（発表5分、質疑2分）

21. 慢性膵炎の実態に関する全国調査
研究代表者 下瀬川徹（東北大学大学院消化器病態学）

廣田衛久、正宗淳、木原康之、
佐藤晃彦、木村憲治、辻一郎、
栗山進一、濱田晋

22. 慢性膵炎臨床診断基準改訂と妥当性の検討
研究代表者 下瀬川徹（東北大学大学院消化器病態学）

廣田衛久、正宗淳、片岡慶正、
伊藤鉄英、成瀬達、宮川宏之、
大原弘隆、竹山宜典、神澤輝実、
佐田尚宏、須田耕一、羽鳥隆、
白鳥敬子

23. 慢性膵炎の素因に関する検討
 研究代表者 下瀬川徹（東北大学大学院消化器病態学）
 桑潔、正宗淳、片岡慶正、
 伊藤鉄英、竹山宜典、丸山勝也
24. 早期慢性膵炎および慢性膵炎疑診例の前向き予後調査
 研究分担者 伊藤鉄英（九州大学大学院病態制御内科学）
 五十嵐久人、下瀬川徹、
 ワーキンググループ委員
25. 慢性膵炎とPI剤使用の実態調査を行う
 研究分担者 片岡慶正（京都府立医科大学大学院消化器内科学）
 伊藤鉄英、木原康之、成瀬達、
 佐田尚宏、阪上順一、下瀬川徹
26. 慢性膵炎、膵石症の内視鏡治療ガイドライン作成
 研究分担者 乾和郎（藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院消化器内科）
 入澤篤志、大原弘隆、廣岡芳樹、
 藤田直孝、宮川宏之、佐田尚宏、
 下瀬川徹
27. 慢性膵炎治療薬の使用実態
 研究分担者 木原康之（産業医科大学第3内科学）
 田口雅史、下瀬川徹
28. 慢性膵炎の禁酒・生活指導指針作成の進行状況
 研究分担者 伊藤鉄英（九州大学大学院病態制御内科学）
 中村太一、大野隆真、五十嵐久人、
 丸山勝也、下瀬川徹、
 ワーキンググループ委員
29. 慢性膵炎と膵癌の関連性についての調査研究
 研究分担者 田中雅夫（九州大学大学院臨床・腫瘍外科）
 上田純二、下瀬川徹

[4] 慢性膵炎—各個研究 14:33~15:18（発表3分、質疑2分）

30. 慢性膵炎における膵石と膵液のプロテオーム解析
 研究分担者 竹山宜典（近畿大学医学部外科肝胆膵外科）
 安田武生、矢野昌人

31. 膵機能低下による NAFLD および NASH の発生に及ぼす因子解析と対策
研究協力者 伊佐地秀司（三重大学大学院肝胆膵・移植外科学）
加藤宏之、信岡祐、安積良紀、
岸和田昌之、濱田賢司、水野修吾、
臼井正信、櫻井洋至、田端正己
32. 呼気による膵外分泌機能検査 -PFD 試験との比較-
研究協力者 中村光男（弘前大学医学部保健学科病因・病態検査学）
松本敦史、丹藤雄介、柳町幸、
田中光、松橋有紀、佐藤江里、
近澤真司
33. 造影EUSによる慢性膵炎診断について（第一報）
研究協力者 入澤篤志（福島県立医科大学内科学第二講座）
池田恒彦、佐藤愛、高木忠之、
大平弘正
34. 慢性膵炎臨床診断基準改定案における確診・準確診画像所見と膵内外分泌機能との関係
研究分担者 片岡慶正（京都府立医科大学大学院消化器内科学）
阪上順一、保田宏明、十亀義生、
鈴木教久、信田みすみ
35. 慢性膵炎・膵障害の自然史
研究協力者 須田耕一（東京西徳洲会病院病理科）
高瀬優、福村由紀、内藤嘉紀、
阿部寛、柿沼千早、八尾隆史
36. アルコール性慢性膵炎患者におけるアルコール依存症の診断および飲酒状況のチェック
—血清フリーグリセロール測定の有用性—
研究協力者 丸山勝也（国立病院機構久里浜アルコール症センター）
血清検体の提供協力者
37. 複合型光ファイバスコープを用いた細径膵管鏡による膵石症治療の試み
研究分担者 乾和郎（藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院消化器内科）
芳野純治、奥嶋一武、三好広尚、
服部昌志、内藤岳人、山本智支、
岡潔、石川寛子
38. 膵疾患の診断における人工ニューラルネットワークの有用性について
（疾患予防、診断、および治療法選択支援システムの構築に向けて）
研究協力者 朴沢重成（慶應義塾大学医学部消化器内科）

15 : 18~15 : 35 コーヒーブレイク

15 : 35~15 : 40 事務局連絡

[5] 自己免疫性膵炎—共同研究 15 : 40~16 : 22 (発表 5 分、質疑 2 分)

39. 自己免疫性膵炎の診療ガイドライン作成

研究分担者 岡崎和一 (関西医科大学内科学第三講座消化器内科)

川茂幸、神澤輝実、伊藤鉄英、
乾和郎、入江裕之、西野隆義、
能登原憲司、久保惠嗣、大原弘隆、
入澤篤志、藤永康成、長谷部修、
西森功、田中滋城、田中雅夫、
白鳥敬子、須田耕一、西山利正、
下瀬川徹

40. 自己免疫性膵炎の活動性評価法の作成

研究分担者 岡崎和一 (関西医科大学内科学第三講座消化器内科)

内田一茂、川茂幸、西森功、
神澤輝実、下瀬川徹

41. 自己免疫性膵炎診断基準の国際化にむけたコンセンサス

研究分担者 岡崎和一 (関西医科大学内科学第三講座消化器内科)

神澤輝実、川茂幸、下瀬川徹

42. 自己免疫性膵炎の実態調査 (第 2 回全国調査) : 最終報告

研究分担者 西森功 (高知大学医学部附属病院光学医療診療部)

菊田和宏、正宗淳、下瀬川徹

43. 自己免疫性膵炎の再発に対するステロイド維持療法の有用性についての臨床試験 :
多施設共同ランダム化介入比較試験

研究分担者 西森功 (高知大学医学部附属病院光学医療診療部)

飯山達雄、水野伸匡、神澤輝実、
下瀬川徹

44. いわゆる好中球病変を伴う自己免疫性膵炎の実態調査

研究分担者 西森功 (高知大学医学部附属病院光学医療診療部)

神澤輝実、岡崎和一、耕崎拓大、
川茂幸、須田耕一、能登原憲司、
杉山政則、白鳥敬子、下瀬川徹

[6] 自己免疫性膵炎－各個研究 16 : 22～17:02 (発表 3 分、質疑 2 分)

45. Idiopathic duct-centric chronic pancreatitis (IDCP) の病理学的再検討
研究協力者 能登原憲司 (財団法人倉敷中央病院病理検査科)
中沢貴宏、大原弘隆
46. EUS 下 trucut 生検 (EUS-TCB) のによる自己免疫性膵炎の診断
研究協力者 山雄健次 (愛知県がんセンター中央病院消化器内科部)
水野伸匡、原和生、澤木明、
肱岡範、今村秀道、松本和也、
谷田部恭、細田和貴
47. 自己免疫性膵炎は膵管癌の前駆疾患か
研究協力者 吉田仁 (昭和大学医学部内科学講座消化器内科学部門)
佐藤悦基、岩田朋之、山崎貴久、
湯川明浩、野本朋宏、本間直、
北村勝哉、今村綱男、池上覚俊、
田中滋城、井廻道夫、
48. 自己免疫性膵炎の初期治療における経口ステロイドとステロイドパルス療法との検討
研究分担者 岡崎和一 (関西医科大学内科学第三講座消化器内科)
富山尚、内田一茂、松下光伸、
池浦司、高岡亮
49. 自己免疫性膵炎患者における血清 IgA および IgM 低値の臨床的意義
研究分担者 木原康之 (産業医科大学第 3 内科学)
田口雅史、永塩美邦、山本光勝
原田大
50. AIP のステロイド有無による画像から見た膵実質の変化の検討
研究分担者 宮川宏之 (札幌厚生病院第二消化器科)
岡村圭也、長川達哉、平山敦、
松永隆裕、道上篤
51. 自己免疫性膵炎の胃排出能についての研究
研究協力者 神澤輝実 (東京都立駒込病院内科)
安食元、宅間健介、江川直人
52. 自己免疫性膵炎の新たな診断システムの開発
-IgG4 のリウマトイド因子様活性について-
研究協力者 川茂幸 (信州大学健康安全センター)
伊藤哲也、太田正穂、浜野英明
新倉則和

[7] 腭嚢胞線維症－共同研究 17:02～17:09 (発表5分、質疑2分)

53. 第4回腭嚢胞線維症全国疫学調査

研究分担者 成瀬達 (三好町民病院)

石黒洋、吉村邦彦、辻一郎、
栗山進一、菊田和宏、下瀬川徹

[8] 腭嚢胞線維症－各個研究 17:09-17:24 (発表3分、質疑2分)

54. わが国の嚢胞性線維症患者における CFTR 遺伝子変異解析

研究協力者 吉村邦彦 (日本赤十字社大森赤十字病院呼吸器内科)

安齋千恵子

55. CFTR 遺伝子の発現調節機構について

研究分担者 成瀬達 (三好町民病院)

藤木理代、石黒洋、中莖みゆき、
山本明子、近藤孝晴

56. 腭導管細胞における CFTR と SLC26A6 の相互作用の解析

研究協力者 石黒洋 (名古屋大学大学院医学系研究科健康栄養医学)

Song Ying、山本明子、中莖みゆき、
近藤孝晴、洪繁、成瀬達

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業
難治性瘰疾患に関する調査研究班

研究代表者：下瀬川 徹

平成 21 年度 第 2 回研究報告会

プログラム

日 時：平成 22 年 1 月 15 日（金）10：30～17：12

会 場：東京ステーションコンファレンス

千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー 6 階 605

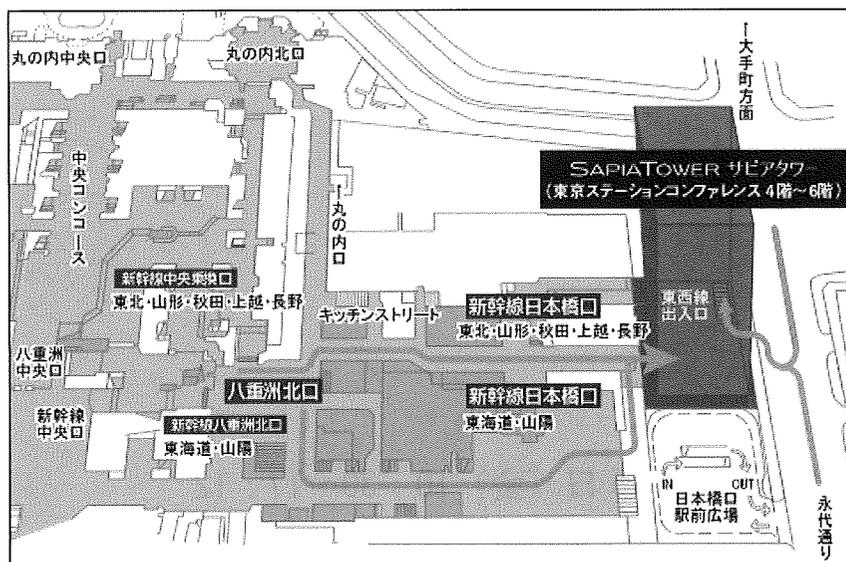
TEL 03-6888-8080（代表） FAX 03-6888-8062

【 発表に関するお願い 】

1. 発表データは、あらかじめ平成 22 年 1 月 7 日 (木) 12 : 00までに難治性膵疾患に関する調査研究班事務局 (suizo@m.tains.tohoku.ac.jp) まで e-mail にてお送りください。
2. PC (Windows に限定)、PowerPoint2007 による、プレゼンテーションのみとします。
3. 発表時間を厳守願います。
(共同研究は 5 分、各個研究は 3 分となっております)

【 会場案内 】

サピアタワー周辺地図



サピアタワー6階

新幹線東京駅日本橋口ー徒歩1分 東京駅八重洲北口ー徒歩2分

※ 地下 2~3 階に駐車場がございます。(300 円/30 分)

10 : 30 開会の辞
10 : 32 ご挨拶

研究代表者 下瀬川 徹
厚生労働省健康局疾病対策課 様

[1] 急性膵炎—共同研究 10 : 37~12:08 (発表 5 分、質疑 2 分)

1. 急性膵炎、重症急性膵炎の全国調査

研究代表者 下瀬川徹 (東北大学大学院消化器病態学)

佐藤賢一、正宗淳、木原康之、
佐藤晃彦、木村憲治、辻一郎、
栗山進一、濱田晋

2. 重症急性膵炎医療費受給者証交付申請状況

研究代表者 下瀬川徹 (東北大学大学院消化器病態学)

正宗淳

3. 重症急性膵炎治療開始の golden time の設定に関する検討

研究分担者 武田和憲 (国立病院機構仙台医療センター外科)

片岡慶正、竹山宜典、廣田昌彦、
北川元二、真弓俊彦、下瀬川徹

4. 急性膵炎重症化の早期予知としての perfusion CT の有用性に関する検討

研究分担者 武田和憲 (国立病院機構仙台医療センター外科)

片岡慶正、竹山宜典、廣田昌彦、
多田真輔、木村憲治、桐山勢生、
古屋智規、下瀬川徹

5. 急性膵炎重症度判定基準 (2008) の検証

研究分担者 武田和憲 (国立病院機構仙台医療センター外科)

片岡慶正、木原康之、北川元二、
黒田嘉和、下瀬川徹

6. 急性膵炎の搬送基準および高次医療施設要件の設定について

研究分担者 片岡慶正 (大津市民病院、京都府立医科大学大学院消化器内科学)

武田和憲、竹山宜典、廣田昌彦、
黒田嘉和、下瀬川徹

7. 急性膵炎における尿中 trypsinogen2 および尿中 TAP 測定の実施状況

研究分担者 片岡慶正 (大津市民病院、京都府立医科大学大学院消化器内科学)

保田宏明、竹山宜典、伊藤鉄英、
真弓俊彦、伊佐地秀司、北川元二、
横江正道、下瀬川徹

8. 急性膵炎初期診療コンセンサスの改訂

研究分担者 伊藤鉄英（九州大学病院肝臓・膵臓・胆道内科）

五十嵐久人、木原康之、下瀬川徹、
ワーキンググループ委員

9. 重症急性膵炎の特殊療法の有用性に関する検証

研究分担者 竹山宜典（近畿大学医学部外科肝胆膵部門）

武田和憲、廣田昌彦、伊佐地秀司、
北川元二、古屋智規、羽鳥隆、
真弓俊彦

10. 急性膵炎の栄養と腸管対策に関する指針の作成

研究分担者 竹山宜典（近畿大学医学部外科肝胆膵部門）

片岡慶正、廣田昌彦、伊佐地秀司、
北川元二

11. ERCP 後膵炎の暫定基準の検証

研究分担者 峯徹哉（東海大学医学部消化器内科学）

明石隆吉、入澤篤志、宮川宏之、
廣岡芳樹、大原弘隆、木田光弘、
吉田仁、花田敬士、川口義明、
五十嵐良典、片岡慶正、下瀬川徹

12. ERCP 後膵炎予防のための膵管ステント留置術 —そのメタアナリシス

研究分担者 峯徹哉（東海大学医学部消化器内科学）

明石隆吉、入澤篤志、小俣富美雄、
宮川宏之、廣岡芳樹、大原弘隆、
木田光弘、吉田仁、花田敬士、
川口義明、五十嵐良典、下瀬川徹

13. ERCP 後膵炎に対するオクトレオタイトの役割 —そのメタアナリシス

研究分担者 峯徹哉（東海大学医学部消化器内科学）

小俣富美雄、明石隆吉、入澤篤志、
宮川宏之、廣岡芳樹、大原弘隆、
木田光弘、吉田仁、花田敬士、
川口義明、五十嵐良典、下瀬川徹

[2] 急性膵炎—各個研究 12:08~12:38（発表3分、質疑2分）

14. 検査時間15分以上はERCP後膵炎を惹起しやすい —ERCP関連後膵炎の予防のために—

研究協力者 明石隆吉（熊本地域医療センター・ヘルスケアセンター）

清住雄昭、上田城久朗、中原和之、
堤英治、山之内健伯、陣内克紀、
田村文雄、浜田知久馬

15. ERCP後膵炎の危険因子に関する検討

研究協力者 久津見弘（神戸大学大学院消化器内科学分野）

船津英司、塩見英之、吉田志栄、
増田充弘

16. 膵 Perfusion CT における解析アルゴリズムの特徴

研究協力者 多田真輔（京都大学大学院医学研究科消化器内科学講座）

辻喜久、千葉勉

17. 高アミラーゼ血症をきたした重症患者におけるトリプシノーゲン測定の有用性

研究分担者 真弓俊彦（名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学）

横江正道、洪繁

18. 重症急性膵炎(SAP)における血漿エンドトキン(Et)濃度と血漿ADAMTS13活性との関連

研究協力者 植村正人（奈良県立医科大学第3内科）

森岡千恵、藤本正男、松山友美、
山尾純一、美登路昭、吉田太一、
沢井正佳、福井博、松本雅則、
加藤誠司、藤村吉博、西尾健治、
奥地一夫

19. 急性膵炎における好中球の役割に関する検討

研究協力者 朴沢重成（慶應義塾大学医学部消化器内科）

中村雄二、宮田直輝

12 : 38～13 : 30 昼食 （研究分担者打ち合わせ会 東北大学東京分室/サピアタワー10階）

[3] 慢性膵炎－共同研究 13:30～14 : 26（発表 5 分、質疑 2 分）

20. 慢性膵炎の実態に関する全国調査

研究代表者 下瀬川徹（東北大学大学院消化器病態学）

廣田衛久、正宗淳、木原康之、
佐藤晃彦、木村憲治、辻一郎、
栗山進一、濱田晋

21. 慢性膵炎臨床診断基準改訂と妥当性の検討

研究代表者 下瀬川徹（東北大学大学院消化器病態学）

廣田衛久、正宗淳、片岡慶正、
伊藤鉄英、成瀬達、宮川宏之、
大原弘隆、竹山宜典、神澤輝実、
佐田尚宏、須田耕一、羽鳥隆、
白鳥敬子

22. 慢性膵炎の素因に関する検討

研究代表者 下瀬川徹（東北大学大学院消化器病態学）

糸潔、正宗淳、片岡慶正、
伊藤鉄英、竹山宜典、丸山勝也

23. 早期慢性膵炎および慢性膵炎疑診例の前向き予後調査

研究分担者 伊藤鉄英（九州大学病院肝臓・膵臓・胆道内科）

五十嵐久人、片岡慶正、下瀬川徹、
ワーキンググループ委員

24. 慢性膵炎における経口蛋白分解酵素阻害薬治療の実態調査

研究分担者 片岡慶正（大津市民病院、京都府立医科大学大学院消化器内科学）

伊藤鉄英、木原康之、成瀬達、
佐田尚宏、阪上順一、下瀬川徹

25. 慢性膵炎、膵石症の内視鏡治療ガイドライン作成

研究分担者 乾和郎（藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院消化器内科）

五十嵐良典、入澤篤志、大原弘隆、
田妻進、廣岡芳樹、藤田直孝、
宮川宏之、佐田尚宏、下瀬川徹

26. 慢性膵炎の禁酒・生活指導指針作成

研究分担者 伊藤鉄英（九州大学病院肝臓・膵臓・胆道内科）

中村太一、藤森尚、大野隆真、
五十嵐久人、丸山勝也、下瀬川徹、
ワーキンググループ委員

27. 慢性膵炎と膵癌の関連性に関する調査研究

研究分担者 田中雅夫（九州大学大学院臨床・腫瘍外科）

上田純二、下瀬川徹

[4] 慢性膵炎—各個研究 14 : 26~15 : 06（発表3分、質疑2分）

28. 慢性膵炎における膵石と膵液のプロテオーム解析

研究分担者 竹山宜典（近畿大学医学部外科肝胆膵部門）

安田武生、矢野昌人

29. 膵機能低下による NAFLD および NASH の発生に及ぼす因子の解析と対策

研究協力者 伊佐地秀司（三重大学大学院肝胆膵・移植外科学）

加藤宏之、岸和田昌之、濱田賢司、
水野修吾、臼井正信、櫻井洋至、
田端正己

30. 呼気による膵外分泌機能検査 —PFD 試験との比較—

研究協力者 中村光男（弘前大学医学部保健学科病因・病態検査学）

松本敦史、丹藤雄介、柳町幸、
田中光、松橋有紀、佐藤江里、
近澤真司

31. EUSによる慢性膵炎（CP）診断におけるSonazoid®造影の意義（第二報）

研究協力者 入澤篤志（福島県立医科大学消化器・リウマチ膠原病内科学講座消化器内科）

池田恒彦、高木忠之、佐藤愛、
鈴木玲、大平弘正

32. アルコール性膵炎患者におけるアルコール依存症の診断及び飲酒状況のチェック
—血清フリーグリセロール測定の有用性—

研究協力者 丸山勝也（国立病院機構久里浜アルコール症センター）

血清検体の提供協力者

33. 複合型光ファイバースコープを用いた細径膵管鏡による膵石症治療の試み

研究分担者 乾和郎（藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院消化器内科）

芳野純治、三好広尚、服部昌志、
山本智支、岡潔、石川寛子

34. 膵筋線維芽細胞に発現するIL-32 の意義について

研究協力者 安藤朗（滋賀医科大学大学院感染応答・免疫調節部門）

稲富理

35. EUS-FNAを応用した膵仮性のう胞に対する治療 —ガイドラインを踏まえて—

研究協力者 山口武人（千葉県がんセンター）

石原武、横須賀收

15 : 06~15 : 25 コーヒーブレイク

15 : 25~15 : 30 事務局連絡

[5] 自己免疫性膵炎—共同研究 15 : 30~16 : 05（発表 5 分、質疑 2 分）

36. 自己免疫性膵炎の診療ガイドライン 2009

研究分担者 岡崎和一（関西医科大学内科学第三講座消化器内科）

川茂幸、神澤輝実、乾和郎、
西森功、伊藤鉄英、西野隆義、
能登原憲司、久保恵嗣、大原弘隆、
入澤篤志、藤永康成、長谷部修、
田中滋城、下瀬川徹

37. 自己免疫性膵炎診断基準の国際化にむけて

研究分担者 岡崎和一（関西医科大学内科学第三講座消化器内科）

川茂幸、神澤輝実、下瀬川徹

38. 自己免疫性膵炎の活動度指標

研究分担者 岡崎和一（関西医科大学内科学第三講座消化器内科）

内田一茂、西森功、下瀬川徹

39. 自己免疫性膵炎の実態調査（第2回全国調査）

研究分担者 西森功（西森医院）

菊田和宏、正宗淳、下瀬川徹

40. 自己免疫性膵炎の再発に対するステロイド維持療法の有用性についての臨床試験：
多施設共同ランダム化介入比較試験

研究分担者 西森功（西森医院）

伊藤鉄英、飯山達雄、水野伸匡、
神澤輝実、下瀬川徹

41. いわゆる好中球病変を伴う自己免疫性膵炎の実態調査

研究分担者 西森功（西森医院）

能登原憲司、神澤輝実、岡崎和一、
耕崎拓大、川茂幸、須田耕一、
杉山政則、白鳥敬子、下瀬川徹

[6] 自己免疫性膵炎—各個研究 16:05~16:50（発表3分、質疑2分）

42. LPSP の特徴的組織所見と紡錘形マクロファージの増生との関係

研究協力者 能登原憲司（財団法人倉敷中央病院病理検査科）

和仁洋治、藤澤真義

43. 自己免疫性膵炎と膵癌の早期の鑑別を目的とした FDG-PET の有用性—第三報—

研究協力者 山雄健次（愛知県がんセンター中央病院消化器内科）

水野伸匡、原和生、肱岡範、
今村秀道、松本和也、玉木恒男

44. 自己免疫性膵炎における膵外病変と膵癌合併

研究協力者 吉田仁（昭和大学医学部内科学講座消化器内科学部門）

田中滋城、佐藤悦基、岩田朋之、
山崎貴久、湯川明浩、野本朋宏、
本間直、北村勝哉、今村綱男、
池上覚俊、井廻道夫